

令和7年度監査報告に基づく措置状況

「定期監査・行政監査」

《市長関係分》

＜総務部＞

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
職員課	<p>＜令和7年度服務・給与制度研修テキストについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> フルタイム会計年度任用職員の出勤管理票において、1時間を単位として与えた年次有給休暇を日に換算する場合は、規則上、勤務日1日当たりの勤務時間（その時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げた時間）をもって1日とし、半日単位での換算はできませんが、4時間をもって半日に換算しているものが複数課でありました。これは、令和7年度服務・給与制度研修テキストの出勤管理票の取扱いにおいて、「フルタイムの会計年度任用職員については正規職員と同様です。」と記載されていることが要因の一つと考えられますので、テキストの記載と会計年度任用職員に係る年次有給休暇の取扱いについて整理し、改めて周知すべきと考えます。（服務） <p>＜契約事務について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託及び見積業者選定伺において、当初予算議決前に契約に係る事前準備を行う際に必要とされる事項の記載がないものがありました。また、見積通知書にも「本契約は、予算の成立を条件とする。」旨の記載がありませんでした。（契約） 	<p>令和8年3月30日、小樽市会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正を行い、フルタイム会計年度任用職員に係る年次有給休暇の取扱いについて、同年4月1日から4時間をもって半日換算とすることにしました。今後、研修等の機会を通して、一部改正の内容をはじめ、休暇制度について周知を行います。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>
総務課	<p>＜出勤管理票の処理について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 半日単位の年次有給休暇を取得する際に、月日又は期間若しくは時間欄に「午前」又は「午後」の記載のないものが複数ありました。（服務） パートタイム会計年度任用職員において、1時間を単位として与えた年次有給休暇を日に換算する場合は、勤務日1日当たりの勤務時間（その時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げた時間）をもって1日とし、半日単位での換算はできませんが、3時間をもって半日に換算しているものがありました。（服務） <p>＜時間外勤務等命令簿の処理について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「命令時間」を訂正する際に、所属長でない者の訂印で処理されているものがありました。（服務） <p>＜契約事務について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の業務委託及び賃貸借契約に係る見積通知書において、当初予算議決前に契約に係る事前準備を行う際に必要とされる「本契約は、予算の成立を条件とする。」旨の記載がありませんでした。（契約） <p>＜随意契約に係る手続について（修繕）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 随意契約の方法により10万円以上の契約を締結しようとする場合は、2人以上の者から見積書を徴しなければなりません。1社のみから見積書を徴し、その理由を記載していないものが複数ありました。契約の性質又は目的上2人以上の者から見積書を徴することができない場合は、その理由を記載する必要があります。（契約） 	<p>令和7年11月25日、本人に確認した上で、記載漏れの事項を追記しました。</p> <p>令和7年11月10日、1日単位での換算に訂正しました。</p> <p>令和7年11月10日、訂正について課長の追認を受けました。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
災害対策室	<p><出勤管理票の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> パートタイム会計年度任用職員において、1時間を単位として与えた年次有給休暇を日に換算する場合は、勤務日1日当たりの勤務時間（その時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げた時間）をもって1日とし、半日単位での換算はできませんが、3時間をもって半日に換算しているものがありました。（服務） <p><時間外勤務等命令簿の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 「命令時間」を訂正する際に、所属長でない者の訂正印で処理されているものがありました。（服務） 	<p>令和7年11月11日、1日単位での換算に訂正しました。</p> <p>令和7年11月11日、訂正について主幹の追認を受けました。</p>

<総合政策部>

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
官民連携室	<p><出勤管理票の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 時間単位の年次有給休暇を取得する際に、「月日又は期間若しくは時間」欄から算出される時間数と「年次有給休暇」欄に記載された時間数が一致していないものがありました。（服務） <p><旅行命令簿の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 主査に対する道外への旅行命令は、室長の専決事項となりますが、主幹の決裁により処理されていました。（服務） 	<p>「年次有給休暇」欄の記載が誤っていたもので、令和8年1月13日、正しい時間数に訂正しました。</p> <p>令和8年1月13日、専決者である室長の決裁について追認を受けました。</p>
企画政策室	<p><契約事務について></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託及び見積業者選定伺において、当初予算議決前に契約に係る事前準備を行う際に必要とされる事項の記載がないものがありました。また、見積通知書にも「本契約は、予算の成立を条件とする。」旨の記載がありませんでした。（契約） 随意契約により契約の相手方を決定する際に、見積提出期限を超過して提出された見積書を有効としているものがありました。（契約） 	<p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>

<産業港湾部>

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
農林水産課	<p><出勤管理票の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> パートタイム会計年度任用職員において、1時間を単位として与えた年次有給休暇を日に換算する場合は、勤務日1日当たりの勤務時間（その時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げた時間）をもって1日とし、半日単位での換算はできませんが、3時間をもって半日に換算しているものがありました。（服務） <p><支出負担行為の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 要綱等で金額（上限額を含む。）が規定されている補助金等に係る支出負担行為で50万円以上の場合は、部長の専決事項となりますが、課長の決裁で処理しているものがありました。（予算執行） <p><国有財産の使用許可に係る事務について></p> <ul style="list-style-type: none"> 国有財産の使用に当たって交付される国有林野使用許可書において、許可年度の翌年度から3年間の使用許可期間及び年次ごとの許可使用料の納付が条文に記載されており、このことは、翌年度以降3年間の債務を負担することを意味しますが、債務負担行為として令和5年度予算に定めていませんでした。（予算執行） 	<p>令和7年11月13日、1日単位での換算に訂正しました。</p> <p>令和8年2月12日、専決者である部長の決裁について追認を受けました。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>
産業振興課	<p><出勤管理票の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 3時間人間ドックの受診を理由として職務に専念する義務を免除する際は、受診後に職場復帰することを前提としているため、免除後に年次有給休暇を取得することはできない取扱いになっていますが、午前の免除後に半日単位で取得しているものがありました。あらかじめ1日の勤務時間全てを勤務しない予定の場合は、年次有給休暇を1日単位で取得する必要があります。（服務） 	<p>令和7年11月14日、1日の年次有給休暇の取得に訂正しました。</p>
観光振興室	<p><休憩時間の付与について></p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務時間が6時間を超える場合は少なくとも45分、8時間を超える場合は少なくとも1時間の休憩時間を勤務時間の途中に付与しなければなりません。時間外勤務を命ずる際に、所要の休憩時間が付与されていないものがありました。また、業務の緊急性からやむを得ず休憩時間を付与するいとまがなかったときは、「休憩時間追加付与不可報告書」により速やかに職員課長へその旨を報告しなければなりません。当該報告書が提出されていませんでした。（服務） <p><契約事務について></p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託及び見積業者選定伺において、当初予算議決前に契約に係る事前準備を行う際に必要とされる事項の記載がないものがありました。また、見積通知書にも「本契約は、予算の成立を条件とする。」旨の記載がありませんでした。（契約） 	<p>令和7年11月20日、業務状況を確認した上で、「休憩時間追加付与不可報告書」を職員課長に提出しました。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
(観光振興室)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物賃貸借契約に係る契約条項において、期間満了の2か月前までに契約を終了させる旨の申出がない場合、1年間更新するものとする旨の条文が記載されており、このことは、期間満了の2か月前に翌年度分の債務を負担する契約を締結することを意味し、債務負担行為又は長期継続契約とする必要がありますが、いずれの手続もしていませんでした。また、同契約において、期間満了の2か月前までに、翌年度の契約を更新する旨の意思決定が必要ですが、決裁を得ていませんでした。(契約) ・今年度の予算執行に係る土地賃貸借契約の契約締結日が、前年度の日付になっているものがありました。(契約) <p>＜随意契約に係る手続について（修繕）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約の方法により10万円以上の契約を締結しようとする場合は、2人以上の者から見積書を徴しなければなりません。1社のみから見積書を徴し、その理由を記載していないものがありました。契約の性質又は目的上2人以上の者から見積書を徴することができない場合は、その理由を記載する必要があります。(契約) 	<p>令和7年11月20日、契約書に予算の減額又は削除に伴う解除条項を追加する変更契約を締結しました。また、令和8年1月30日、令和8年度の契約更新に向け、決裁を得ました。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>
公設水産 地方卸売 市場	<p>＜随意契約に係る手続について（修繕）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約の方法により10万円以上の契約を締結しようとする場合は、2人以上の者から見積書を徴しなければなりません。1社のみから見積書を徴し、その理由を記載していないものが複数ありました。契約の性質又は目的上2人以上の者から見積書を徴することができない場合は、その理由を記載する必要があります。(契約) 	<p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>
商業労政課	<p>＜支出負担行為の処理について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・債務負担行為又は長期継続契約に基づく2年度目以降の支出負担行為は、各年度における予算執行に関する支出負担行為が必要となることから、毎年4月1日付けで決裁を得なければなりません。長期継続契約による賃貸借契約に係る今年度の歳出予算に基づく支出負担行為書において、決裁を得ずに「別途決裁済」として処理しているものがありました。(予算執行) 	<p>令和7年11月19日、専決者である課長の決裁について追認を受けました。</p>
港湾室 港湾業務課	<p>＜時間外勤務等命令簿の処理について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務を命ずる際は、所属長印欄に押印するとともに、確認した時間を手書きするときは、所属長が確認印欄に押印しなければなりません。両方の押印がないものがありました。(サービス) 	<p>令和7年11月20日、専決者である課長の決裁について追認を受けました。</p>
港湾室 港湾振興課	<p>＜支出負担行為の処理について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要綱等で金額（上限額を含む。）が規定されている補助金等に係る支出負担行為で50万円以上の場合は、室長の専決事項となります。課長の決裁で処理しているものがありました。(予算執行) <p>＜歳入の徴収事務委託に係る告示について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入の徴収事務を委託した際に行う告示について、告示文書に記載した委託期間が実際の委託期間と一致していないものがありました。(契約) 	<p>令和7年11月27日、専決者である室長の決裁について追認を受けました。</p> <p>令和8年4月1日、実際の委託期間で告示し直しました。</p>

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
(港湾室 港湾振興課)	<p><補助金に係る交付申請等の手続について></p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金に係る交付申請等の手続について、申請者と交付決定等を行う者が同一となっており、双方代理を禁止した民法第108条第1項に該当するものが複数ありました。(その他) 	<p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>

<会計課>

指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
<p><時間外勤務等命令簿の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 確認した時間を手書きする際に、「命令時間」と「確認した時間」とが一致していないものがありました。(服務) 	<p>「確認した時間」の記載が誤っていたもので、令和8年1月23日、正しい時間に訂正しました。</p>

《教育委員会関係分》

室 課 等	指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
銭函中学校	<p><時間外勤務等命令簿の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務を命ずる際は、その都度、時間外勤務等命令簿に命令内容等を記載し、所属長印欄に押印しなければなりません。まとめて印字したものに押印し、処理していました。(服務) 	<p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>
朝里中学校	<p><出勤管理票の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 3時間人間ドックの受診を理由として職務に専念する義務を免除する際は、受診後に職場復帰することを前提としているため、免除後に年次有給休暇を取得することはできない取扱いになっていますが、午前の免除後に半日単位で取得しているものがありました。あらかじめ1日の勤務時間全てを勤務しない予定の場合は、年次有給休暇を1日単位で取得する必要があります。(服務) 	<p>令和7年10月7日、1日の年次有給休暇の取得に訂正しました。</p>
向陽中学校	<p><出勤管理票の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇を取得する際に、専決者である校長の決裁を受けていないものがありました。(服務) <p><時間外勤務等命令簿の処理について></p> <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務を命ずる際は、その都度、時間外勤務等命令簿に命令内容等を記載し、所属長印欄に押印しなければなりません。まとめて印字したものに押印し、処理していました。(服務) 	<p>令和7年10月9日、専決者である校長の決裁について追認を受けました。</p> <p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>

《農業委員会事務局関係分》

指 摘 事 項	措 置 の 内 容 等
<p><契約事務について></p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の予算執行に係る契約締結日の決裁日が、前年度の日付になっているものがありました。(契約) 	<p>今後は、適正な事務処理に努めます。</p>